

## 調布景観クイズ

### 第1問

調布市には、緑あふれ自然豊かな国分寺崖線があります。

この国分寺崖線は、どのようにしてでき上がったのでしょうか？

- ①大地震 ②土地の隆起 ③断層 ④川の浸食 ⑤昔の人が土を盛った

正解はページの下を見てね!

## ■次号の予告

あなたの住んでいるまちは、どんなまちですか？

歴史あるまちですか？

田園風景が残るまちですか？

新しいまちですか？

大切にしたいまちの風景はありますか？

次号は周辺のまちなみについて考えます！

まちをのんびり散歩して、  
まちをみてみましょう。



## ◎お知らせ◎

平成26年度  
第1回  
調布市景観審議会を  
開催します。

日時  
平成26年7月2日(水)  
午前10時から

議題  
調布市景観形成ガイドライン  
色彩編(骨子案)について

次回の「景観だより」は  
8月ごろ発行予定です!  
お楽しみに!

正解:④川の浸食。古多摩川が数万年から約3万年前にかけて武蔵野台地を削ってきたと言われています。  
出典)多摩川水系野川流域河川整備計画 東京都 H21

調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせをしていきます。

発行 調布市都市整備部 都市計画課 景観係

Tel : 042-481-7746 Fax : 042-481-6800 mail : keikaku@w2.city.chofu.tokyo.jp

# ちょうふ 景観 だより

平成26年6月26日発行

第19号

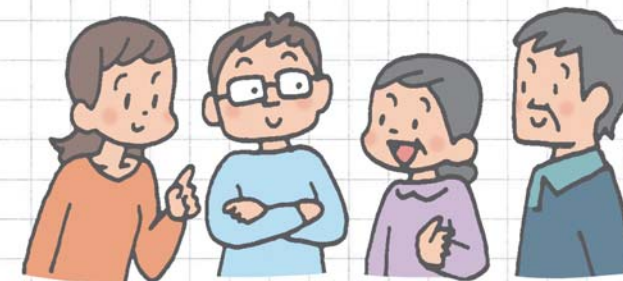


←景観まちづくりと一緒に考える  
神代植物公園からやってきたお花の妖精

## ■今年度の「ちょうふ景観だより」は

前年度までの「ちょうふ景観だより」では、調布市の景観計画ができるまでの過程をみなさんにお知らせしてきました。

今年度からは、みなさんと一緒にできる身近な景観まちづくりについて、考えていきたいと思います。今年度の景観だよりは5回発行予定です。



調布市景観計画は、平成26年2月に策定しました。調布市都市計画課及びホームページで見ることが出来ます。

<http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1392194121141/index.html>

## 今号の目次

- 今年度の「ちょうふ景観だより」は(1ページ)
- 景観まちづくりについて(2ページ)
- 景観のベースは地形にあり(3ページ)
- 次号の予告・お知らせ(4ページ)

## ■ 景観まちづくりについて

景観は、まちの眺めであり、まちの歴史・文化であり、まちに生活する人々の暮らしぶりも表しています。普段、私たちが目にしている緑や川などの自然をはじめ、住宅、商店、農地、道路、鉄道など、様々な市民生活が積み重なった姿ともいえます。



また、調布市では、平成26年2月に「調布市景観計画」を策定し、そのなかで景観まちづくりの基本目標を「人と自然が織りなす ほっとする暮らしがみえるまち 調布」としています。

調布市を「ほっとする暮らしがみえるまち」にするにはどうしたら良いのでしょうか？

私たちは、昔から地域住民の手によって守り育まれてきた景観を受け継いでいくにはどうしたらよいのでしょうか？



歩く人を楽しませるカカシのある風景

通りを歩く人々を見守り続ける祠(ほこら)

にぎわいのある深大寺周辺

まずは、まちを知り、考えていきましょう！

### 景観まちづくりを考える5つのステップ

- ①住んでるまちは、どんな地形？(今号で解説)
- ②周辺のまちなみは？
- ③向こう3軒両隣のデザインは？
- ④自分の家の色をイメージしてみよう！
- ⑤今すぐできるまちなみの魅力を高める工夫！



全5回の景観だよりで、5つのステップについて、順番に解説をしていきます。

## ■ 景観のベースは、地形にあり！

調布市は、市域の東西方向に連続する国分寺崖線と多摩川、また多摩川低地から武蔵野段丘面へ向けて約30m以上の高低差が生み出す南北方向の多様な地形変化が調布らしい景観をつくる骨格となっています。



台地が広がる調布飛行場

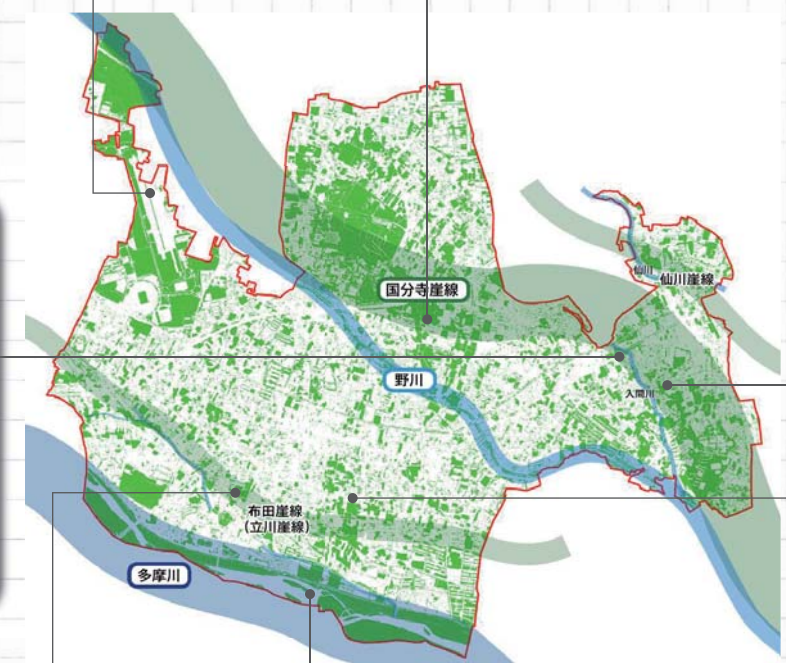


広がるのどかな田園風景

あなたのまちはどんな地形??  
地形によって、まちなみが見下ろせたり、見上げられたり、緑が背景にあったり、川の背景にまちなみがあったり。  
地形によって、まちなみの見え方が変わるんだ。



緑量の多い坂道



国分寺崖線への眺望



布田崖線を背景にする住宅地



多摩川沿いの住宅地



自然豊かな下布田遺跡